

# 2018年度 第4回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 選考報告

選考委員長 櫻井 一弥

## 1. 応募講演

9 講演

## 2. 選考経過

### 2-1 建築デザイン発表会

2018年6月16日(土) 10:45~12:25

於：青森県観光物産館アスパム 6階 岩木  
(青森県青森市安方一丁目1-40)

応募9講演のポスター掲示、ならびに発表が行われた。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介されるとともに、活発な質疑回答が行われた。発表会は滞りなく進められた。時間厳守にご協力いただいた発表者各位、聴講者各位に感謝申し上げます。

### 2-2 選考委員会

2018年6月16日(土) 15:00~15:40

於：青森県観光物産館アスパム 4階 十和田

発表全体を聴講した建築デザイン教育部会の部会員5名(下記参照)で、建築デザイン発表賞にふさわしい講演を選出することとした。

内規に従い、計9件の講演より1つの講演を選出することを確認し、部会員相互で協議した。様々なタイプのプロジェクトがある中で、どのように賞を選出するか、議論が難しかったが、最終的にはそれぞれのプロジェクトを多角的な視点から評価し、議論を通して決定することとした。

その際、内規に記載の通り、建築デザイン発表会を欠席する部会員には事前に講演梗概を開示し、賞にふさわしい候補を挙げてもらうこととしていたが、欠席の部会員からは特に候補が挙がらなかったため、選考委員会に出席の部会員の意見で決定した。

結果、次節に示す講演に第4回建築デザイン発表賞を授与することとした。

選考委員長： 櫻井 一弥 (建築デザイン教育部会長、東北学院大学)

選考委員： 小地沢将之 (建築デザイン教育部会幹事、仙台高等専門学校)

増田 豊文 (東北文化学園大学)

馬渡 龍 (八戸工業高等専門学校)

大沼 正寛 (東北工業大学)

## 3. 選考結果

第4回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 1点

「福島県東北地域に見られる養蚕民家のコンバージョン計画」

庄司 友貴、相模 誓雄 (敬称略)

(仙台高等専門学校)

#### 4. 講評

##### 「福島県県北地域に見られる養蚕民家のコンバージョン計画」

本講演は、福島県の県北地域を中心に見られる養蚕民家に対して、住居としてのリノベーションだけではなく、新たな転用（コンバージョン）を視野に入れた計画について紹介したものである。この地域で特徴的な、「半切妻半寄棟」とでもいうべき養蚕民家の形式に対して、内部の空間構成を丁寧に読み解き、無理をせずにコンバージョンするためのリサーチを十分に行っている。最終的な提案としては、養蚕民家の梁や柱といった部分には手を付けず、畳一枚分の大きさから成るセルフビルド型の立体ユニットを考案し、それらをアッセンブルすることによって様々な用途に対応させようとするものである。その考え方は内部空間に留まらず、建物前面の通路空間や附属家などにも展開できる可能性について言及されている。

選考委員会では、本講演内容に到達するための精緻なリサーチがその背後に伺えたこと、具体化された形態の妥当性などが高く評価された。一方で、計画の骨子となるセルフビルド型の立体ユニットのスケール感や構法的な部分については改良の余地があることや、ユニットの2階部分の提案があまりなされていないことなど、計画の実現性という意味では課題があることも指摘された。しかしながら、養蚕民家のコンバージョンという現代的な課題に対して、バランス良く全体をまとめ、発表した姿勢は大いに評価すべきとの結論に達した。講演自体についても、分かりやすいプレゼンテーションに加え、質疑に対する適確な回答が評価され、今回の賞に選出された。

以上